

川崎の雑学

～川崎にちなむ本 + α ～



板橋 洋一

(一社)川崎地方自治研究センター

川崎市の南北問題

- ・**所得格差** 平均世帯年収川崎区491万円、麻生区678万円（2014年）
生活保護率 田島支所5.59% 麻生区1.05%（2019年）
- ・**学歴格差** 宮前区某中学校偏差値81 川崎区25 （2012年）
高卒就学率 麻生区53.1% 川崎区23.7%（2005年）
- ・**就業格差** 南部ブルーカラー 北部ホワイトカラー
- ・**平均寿命** 川崎区男78.2歳 麻生区男83.1歳（2015年）
- ・**愛着率** 麻生区20.8 川崎区—14.1 （2017年）
- ・**自殺率** 川崎区男131.5 麻生区男83.7（2008～2014年標準化死亡比）
- ・**犯罪検挙数** 川崎区2237件 麻生区517件 （2018年）
- ・**課題** 南部＝貧困、北部＝家庭
- ・**外国人の構成**
 - 南部** 労働者、風俗 コリアン（オールド、ニューカマー）、中国、東南アジア、アフリカ
 - 北部** 留学生、外資系企業、技術者 欧米系

これでいいのか川崎市シリーズ マイクロマガジン社



2010年2月19日発行



2019年4月26日発行



2020年1月28日発行

リミックス



2024年9月3日刊
小学館

神奈川県警少年捜査課の高尾と丸木のもとに、旧知の高校生・賀茂が失踪したという報せが届く。賀茂は古代の霊能者・役小角の呪術力を操る不思議な少年だった。賀茂は失踪前、半グレに追われていたという。高尾たちが失踪の経緯を調べると、外国にルーツをもつ若者たちと半グレ集団の間で抗争が起きつつあることが判明する。事態はやがて、カルト的人気を誇る女性ボーカル・ミサキを巻き込んだ誘拐事件へと発展し――!?

今野敏

1955(昭和30)年北海道生れ。

上智大学在学中の1978年に「怪物が街にやってくる」で問題小説新人賞を受賞。レコード会社勤務を経て、執筆に専念する。2006(平成18)年、『隠蔽捜査』で吉川英治文学新人賞を、2008年、『果敢―隠蔽捜査2―』で山本周五郎賞と日本推理作家協会賞を受賞する。さまざまなタイプのエンターテインメントを手がけているが、警察小説の書き手としての評価も高い。『アイコン』『リオ―警視庁強行犯係・樋口顕―』『花水木』『TOKAGE』『心霊特捜』『処断』『疑心―隠蔽捜査3―』『同期』『凍土の密約』など著書多数。

テスカトリポカ



2021年2月19日発行角川書店

第165回直木賞受賞!、34回山本周五郎賞受賞。

鬼才・佐藤究が放つ、クライムノベルの新究極、世界文学の新次元!

メキシコのカルテルに君臨した麻薬密売人のバルミロ・カサソラは、対立組織との抗争の果てにメキシコから逃走し、潜伏先のジャカルタで日本人の臓器ブローカーと出会った。二人は新たな臓器ビジネスを実現させるため日本へと向かう。川崎に生まれ育った天涯孤独の少年・土方コシモはバルミロと出会い、その才能を見出され、知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれていく。海を越えて交錯する運命の背後に、滅亡した王国〈アステカ〉の恐るべき神の影がちらつく。人間は暴力から逃れられるのか。心臓密売人の恐怖がやってくる。誰も見たことのない、圧倒的な悪夢と祝祭が、幕を開ける。

主人公土方コシモは、メキシコから逃れた母と川崎のヤクザとの間に生まれ、無戸籍のまま成長する。学校にも行けない彼は、近くの高津図書館、等々力アリーナでの川崎ブレイブサンダースの試合を見に行く。

また、臓器ビジネスは、幸区の病院医師が富士見町の倉庫の二階で、児童養護施設に引き取られた無戸籍の子供たちから生体移植用に臓器を取り出す。大島にある鉄工場、桜本にある多国籍バーがリアルに描きだされる。

佐藤 究:1977年福岡県生まれ。2004年に佐藤憲胤名義で書いた『サージウスの死神』が第47回群像新人文学賞優秀作となりデビュー。16年『QJKJQ』で第62回江戸川乱歩賞を受賞。18年、『Ank:a mirroring ape』で第20回大藪春彦賞および第39回吉川英治文学新人賞。

43回の殺意



2017年12月13日刊 双葉社
2020年4月 新潮文庫

少年法に守られた殺人者。

数年すればその罪は「なかったこと」になる。

2015年2月20日未明、凍てつく風が吹きつける多摩川の河川敷で、上村遼太君は全裸で息も絶え絶えに草地を這っていた。カッターで全身を43カ所も刺されて。

後に殺人などの容疑で逮捕された3人の未成年者が法廷で明かした理不尽な殺意。彼らに反省の色はない。そして互いに責任を擦り付け、攻撃し合う被害者の両親……。

無辜の少年はなぜ命を奪われたのか。緻密な取材を基に深層を炙り出す。

石井/光太

1977(昭和52)年、東京生れ。日本大学芸術学部文芸学科卒業。国内外の文化、歴史、医療などをテーマに取材、執筆活動を行っている。漂流児童(2018年)、夢幻の街(2020年)、地球村の子どもたち(2020年)、格差と分断の社会地図(2021年)、近親殺人(2021年)

心にナイフをしのばせて



神戸で「酒鬼薔薇」事件が起こったのが1997年。その28年前、そっくりな事件が東京近郊であった。同級生を殺し、その首を切断した加害者は、当時15歳の少年。息子の死から40年近く経ったいまも、被害者家族は事件を重く引きずっている。歳月は、遺族を癒さないのだ。一方、犯人の父は、約束の賠償金をほとんど払わぬまま死亡。犯人は“立派に更生”し、なんと弁護士として成功をおさめていた。被害者家族に光を当て、司法を大きく動かした、執念のルポルタージュ。

1963年、東名高速道路川崎インターのそばにある私立サレジオ高校近くの空き地で高校1年生の生徒が惨殺された。一緒にいた生徒も左腕を切られ血を流して学校に暴漢に襲われたと助けを求めにきた。しかしながら、それは狂言で実際は助けを求めにきた生徒が殺害したと判明した。

中学校時代から仲間内のいじめにあい、そのはらいせに犯行に及んだのだった。

被害者の家族は心に事件をひきずり、苦しみながら暮らした。一方、加害者は当時の少年法により数年の後社会復帰し、成長を遂げていく。

被害者の家族に寄り添いながら、長期にわたるインタビューによりその苦悩を明らかにしていく。

奥野修司

1948(昭和23)年、大阪府生まれ。ノンフィクション作家。立命館大学卒業。78年から南米で日系移民を調査する。帰国後、フリージャーナリストとして活動。98年、「28年前の『酒鬼薔薇』は今」で、「編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞」を受賞。『ナツコ 沖縄密貿易の女王』で、2005年に講談社ノンフィクション賞を、2006年に大宅壮一ノンフィクション賞をダブル受賞。『ねじれた絆』『皇太子誕生』『心にナイフをしのばせて』『副作用のない抗がん剤』の誕生 がん治療革命』など著作多数。

2006年8月25日
文芸春秋刊
2009年4月10日
文春文庫

ルポ川崎



2017年12月15日発行CYZO社
2021年4月新潮文庫



貧困

この街は、ヤバい。経済格差、ヘイトクライム、高齡化、薬物汚染、そして分断。ここは日本の縮図だ! 気鋭のライターが切りこむ先鋭的ドキュメンタリー工業都市・川崎。過酷な住環境の中をヤクザが闊歩し、貧困が連鎖するこの街で、陰惨な中一殺害事件やドヤ街での火災、ヘイト・デモといった暗い事件が続くのは偶然ではない。しかし、日本のヒップ・ホップシーンを牽引するBAD HOPをはじめとして、熱狂を呼ぶスターとして巣立っていく若者たちもいる。ここは地獄なのか、夢の叶う街なのか。負の連鎖を断ち切ろうとする人々の声に耳を傾け、日本の未来の縮図とも言える都市の姿を活写した刺激的ルポルタージュ!

令和元年のテロリズム

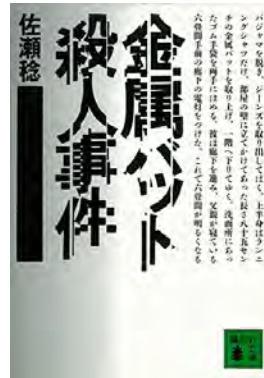


2021年3月26日刊
新潮社

川崎登戸カリタス小学校20人殺傷事件、元農林水産省事務次官長男殺傷事件、京都アニメーション放火殺傷事件、東池袋自動車暴走死傷事故。「令和」の幕開けに日本を震撼させた事件の現場を「ルポ川崎」の著者が追う。事件から見てきた現代の風景とは？

家族

金属バット両親殺害事件:1980年11月29日、川崎市高津区(現:宮前区)に住む2浪目の予備校生(当時20歳)が、両親を金属バットで殴り殺した事件。
エリートの父親と母親を金属バットで殴り殺したという話題性から、ドラマの題材となった。**受験戦争**を象徴する事件として話題となった。



1984年11月草思社刊1988年12月講談社文庫



1983年1月情報センター出版刊2008年1月朝日文庫

藤原 新也:1944年生は、作家・随筆家、写真家、旅人。麻原彰晃の研究家としても知られる。

誰からも「よい子」と愛されていた少年が、ある夜、突然、両親を殴り殺した。何が正常で何が異常なのか。この一家の両親にも、次男にも、異常なものなどどこにもなかった。正常な少年を駆り立てた動機とその異常な行動の間の「真白」な闇とは何であったのか。意識に潜む狂気を暴く。

佐瀬稔

1933年、神奈川県生。東京外国語大学英米語学科中退。報知新聞社に勤め、1973年にフリー。スポーツ、いじめ、登山家などを扱うノンフィクション作家。1985年『金属バット殺人事件』で第38回日本推理作家協会賞。スポーツライターとして『ワールドボクシング』誌に「感情的ボクシング論」を連載。98年65歳で死去。

殺人都市川崎



治安が悪く、地獄のような街で地べたを這いずって暮らしていると考え
ていた俺は間違っていた。

出会ったら命がないと言われている、伝説の殺人鬼・奈良邦彦。本
当の地獄は、あいつとの出会いから始まった。

彼女を、そして両親を殺された俺は、それから執拗に奈良に狙われ続
け……。

四一歳の若さで急逝した作家による、最期の挑発&最後の小説。

冒頭、大師瀧秀園で、高校生二人が殺人犯に追われる。チ
ネチッタ、ゲームセンターなどに逃げ込むが……

浦賀/和宏

1978年川崎市生まれ。1998年に『記憶の果て』で第5回メフィスト賞を
受賞しデビュー。2001年に発表した『彼女は存在しない』がベストセ
ラーに。様々なジャンルのミステリーを描き、著書多数。2020年2月没。
享年41

2020年5月15日刊 ハルキ文庫

川崎怪談



竹書房怪談文庫
2022年10月
28日発行

戦慄!最恐都市・川崎の実話因縁怪談集

地元在住ホラー作家が徹底取材 特別寄稿:平山夢明

川崎区殿町に吹く不吉な風

地蔵の顔をも溶かす多摩川の恨み

今も跡地に影響を及ぼす陸軍登戸研究所

入った者が祟りで死んだ多摩区浄水場

心霊スポット八丁畷駅周辺の怪異

神奈川県では横浜市の次に人口が多い川崎市は、工業地帯として発達した一方、怪異や人の業が渦巻くダークな都市でもある。

各地の土地の因縁話の蒐集をライフワークとする著者が川崎の膨大な資料・文献から厳選した奇妙な話の行方を綴ったマニアックな実話ご当地怪談集。

- ・大手自動車工場に勤める男のもとに奇妙な電話がかかってくる「水底から」(川崎区)
- ・橋脚に現れた少女の姿にまつわる土地の怪異「橋脚の少女」(高津区)など。

また、川崎市出身の平山夢明がとっておきの川崎怪談を寄稿。自殺が多発する団地の近くにある食堂では...「とんかつ豚次」(幸区)ほか収録。

川崎警察下流域



香納諒一:1963年神奈川県生まれ。'91年「ハミングで二番まで」で第13回小説推理新人賞を受賞しデビュー。'99年『幻の女』で第52回日本推理作家協会賞を受賞。

1970年代の川崎。

京浜工業地帯として発展する裏で、ヘドロで漁ができなくなった漁師たちが、漁業権や船舶の買い上げと、補償金をエサに立ち退きを迫られ、漁民の間に分断と対立が生じていた。また新興工業地帯には朝鮮や沖縄からの流入者も多く住み、住民問題は複雑化していた。

そんな土地で、多摩川河口に溺死体があがった。遺体は元漁師の矢代太一と判明。彼は漁業権問題で漁民をまとめる交渉役だった。

だが遺体には複数の打撲痕が認められ、漁師の溺死という不自然さと併せて事件性をうかがわせた。そして遺品にはなぜかキーホルダーがふたつあり、自宅以外にも家があるようだった。

川崎警察署刑事課のデカ長、車谷一人は、ベテラン捜査員たちや新米刑事の沖修平らを叱咤しながら捜査に乗り出す。

矢代は漁師をやめて得た補償金で、夫婦で食堂を始めたが、妻の死によって店をたたみ、いまは次男と暮らしていた。居酒屋やクラブで酒を飲むだけが楽しみだったという。漁業権放棄問題では対立する漁師グループから恨みも買っていたことがわかった。

被害者の足取りを追ううちに、矢代は居酒屋で飲んでいるところに若い女性から電話がかかり、慌てたようにして店を出て行ったことがわかった。

事件が報道されると、矢代に離れの部屋を貸していたという夫婦から川崎署に電話が入った。しかも義理の娘とふたりで借りていたという。

矢代には息子が二人いたが、ともに独身で、義理の娘などはいなかった。

手がかりを得た車谷たちは、不審死事件の背後に横たわる予想外に深い泥沼に足を踏み入れることになるが.....

松浦純菜の静かな世界、火事と密室と雨男のものがたり



“奇跡の男”八木剛士の周辺で何故か頻発する怪事件。女子高生の首吊り死体が発見され、無差別放火事件が連続する。世の中を恨み続けて生きてきた剛士が、唯一出会った理解者・松浦純菜と事件を調べるうちに、ある一人の男に辿りつく。孤独に徹しきれない剛士の心に芽生える複雑な想いを、青春ミステリの先覚者、浦賀和宏が切なく描く。

「私には分かるよ。あなたの気持ち。殺したい奴って、確かにいるもの」
大けがを負い、療養生活をおくっていた松浦純菜(まつらじゅんな)が2年ぶりに自宅に戻ってくると、親友の貴子が行方不明になっていた。市内では連続女子高生殺人事件が発生。被害者は身体の一部を持ち去られていた！大強運で超不幸な“奇跡の男”八木剛士(やぎたけし)と真相を追ううちに2人の心の闇が少しずつ重なり合う新ミステリ。



川崎商業高校(現:幸高校)が舞台。

深沢潮「緑と赤」、「ひとかどの父へ」



深沢/潮

東京都生まれ。上智大学文学部卒業。会社勤務、日本語講師などを経て2012年、在日の世界でお見合いを取りしきりながら生きる女性を描いた「金江のおばさん」で第一回「女による女のためのR-18文学賞」大賞を受賞

2015年4月7日刊
朝日新聞社

ふたつの国の狭間で揺れる、迷う、恋をする。

二〇一三年の夏、在日韓国人の大学生・知英はパスポートを取得した。表紙の色を見て、改めて自分の国籍を意識する。町ではヘイトスピーチのデモに遭遇し、戸惑う。「なにじん」なのか、居場所はどこにあるのか、友人と分かり合えないのはなぜか。自分に問い続ける知英は少しずつバランスを失っていく。K-POPファンの梓、新大久保のカフェで働く韓国人留学生のジュンミン、ヘイトスピーチへの抗議活動に目覚める良美、日本に帰化したのち韓国で学ぶことを選んだ龍平、そして知英。ふたつの国で揺れる五人の男女の葛藤と再生を描く。

主人公は、溝の口に住む母子家庭。

2019年1月4日刊
小学館文庫



大学を卒業した朋美にとって父親の記憶はおぼろだ。父の膝の上に抱かれた記憶、煙草の匂い、顎にある大きなほくろ。活動家で、理想の世界実現に燃えていた、立派な男—まだ見ぬ父を思うたびに切なくなる。

ところが、実業家の母である清子が衆議院議員に立候補した折、夫が在日コリアンであったことが報道され、朋美はその事実衝撃を受ける。

なぜ母はそれを黙っていたのか。不安と怒り、拒絶、落胆……複雑な感情が渦巻く。崩れていく理想像。父親の正体はいったい誰だったのか。自身のアイデンティティと向き合うために、朋美は父親の足跡を辿る。一方、日本人である母親と父との出会いにも、秘められたドラマがあった…。

姜尚中氏絶賛、母子三代にわたる在日の家族を描く、感動の物語。

主人公は、桜本にある韓国籍の友人の家に遊びに行き、歓待を受ける。

フォルトナの瞳



2014年9月新潮社刊
2015年11月新潮文庫

その若者には、見たくないものが視えた。他人の「死」が。「運命」が。幼い頃に両親と妹を亡くした木山慎一郎には、友人も恋人もいない。一日中働き夜寝るだけの日々。夢も自信も持てない孤独な人生だった。その日までは——。ミリオンセラーを連発する著者が、満を持して選んだテーマは「愛」と「死」と「選択」を巡る、人間の「運命」の物語。大切な人の「死」が見えたとき、あなたなら、どうしますか？

主人公木山は、京浜急行川崎大師駅近くのアパートに住み、浜川崎にある自動車研磨工場で働いている。浜川崎線を使って浜川崎駅から八丁畷駅で京浜急行に乗り換え、京急川崎駅で大師線に乗換えて大師駅に着くという通勤経路が面白い。川崎駅前の携帯ショップ、スターバックスが出てくる。

2019年公開
監督 三木孝浩 東宝
神木隆之介、有村架純、志尊淳



海賊と呼ばれた男



2012年7月12日刊
講談社
2014年7月講談社
文庫

「ならん、ひとりの馘首もならん！」異端の石油会社「国岡商店」を率いる国岡鐵造は、戦争でなにもかもを失い残ったのは借金のみ。そのうえ大手石油会社から排斥され売る油もない。しかし国岡商店は社員ひとりたりとも解雇せず、旧海軍の残油浚いなどで糊口をしのぎながら、逞しく再生していく。20世紀の産業を興し、人を狂わせ、戦争の火種となった巨大エネルギー・石油。その石油を武器に変えて世界と闘った男とは－出光興産の創業者・出光佐三をモデルにしたノンフィクション・ノベル

①イギリスのメジャー資本と政府に攻められながらも、イランからの石油を積んだ日章丸が、秘密裡に川崎港に入港する。②国岡商店の子会社宗像海運の船が京浜運河でノルウェー戦と衝突し、36名の全乗組員が犠牲となった。

百田尚樹

1956年、大阪生まれ。同志社大学中退。放送作家として人気番組「探偵!ナイトスクープ」など多数を構成。2006年、特攻隊の零戦乗りを描いた『永遠の0(ゼロ)』で作家デビュー。

2016年12月公開東宝

監督 山崎貴

出演 岡田准一 吉岡秀隆 染谷祥太 鈴木亮平 綾瀬はるか 堤真一 近藤正臣 国村隼 黒木華 小林薫



君が異端だった頃



恥多き君の人生に、花束を！「誰にでも少年時代はあるが、誰もがそれに呪われている。」3月生まれの幼年期から、修業時代を経て『優しいサヨクのための嬉遊曲』で鮮烈なデビュー。「オレは必ず小説家になり、空回りと空騒ぎに終始した恥ずべき高校時代を全て書き換えてやる」と誓った高校時代。「英語とロシア語両方でできれば、世界の美女の半分に自分の思いを伝えられる」とロシア語漬けの大学時代。ソビエト留学中に知り合った男性に、小説を持ち込むことを勧められ、『優しいサヨクのための嬉遊曲』の後芥川賞候補になるも、5回も落選するとは想像もしなかった。酒の席で知り合った文豪たち—埴谷雄高、大岡昇平、安部公房、後藤明生、古井由吉、中上健次—は、君に伝統を保守する正統なんか目指さずに異端のままでもいいと教えた。そしてその間に繰り広げられた、妻がある身の最低男による華麗なる遍歴と、不埒な煩悶に翻弄される日々……。デビューから36年を経た著者が赤裸々に語る、自伝的青春「私」小説！

多摩区の中学から南部の県川高に入学し、そのカルチャーギャップに驚愕したが、いつしか南部カルチャーに溶け込み、青春時代を川高生らしく謳歌した。

島田雅彦

1961年、東京都生れ。県立川崎高校、東京外国語大学ロシア語学科卒。

1983年『優しいサヨクのための嬉遊曲』を発表し注目。1984年『夢遊王国のための音楽』で野間文芸新人賞、1992年『彼岸先生』で泉鏡花文学賞、2006年『退廃姉妹』で伊藤整文学賞を受賞。著書は『天国が降ってくる』『僕は模造人間』『彗星の住人』『美しい魂』『エトロフの恋』『フランシスコ・X』『佳人の奇遇』『徒然王子』『悪貨』等多数。。

2019年8月5日刊
集英社

小嵐九八郎



2007年4月13日刊
講談社

死屍累々。60年安保の樺美智子さんから、2000年病死の島成郎さんまで。ベトナム反戦、安田講堂占拠、よど号ハイジャック、連合赤軍、三菱重工爆破、中核VS.革マル、三里塚闘争——新左翼運動の中で落命し、あるいは自死した者たち。自らも活動家であった著者が、27人の死者への祈りを込めた挽歌！

樺美智子、岸上大作、奥浩平、山崎博昭、由比忠之進、望月上史、高橋和己、早岐やす子、遠山美枝子、山田孝、奥平剛士、川口太三郎、森恒夫、前迫勝士、本多延嘉、斉藤和、中原一、東山薫、谷口利男、戸村一作、佐藤満夫、若宮正則、田宮高麿、島成郎

小嵐/九八郎

1944年、秋田県能代市生まれ。県立川崎高校、早稲田大学政経学部卒。川崎市役所職員。在学中から新左翼活動家になり、銃刀法違反などで通算5年余り拘置所、刑務所生活を送る。86年に小説家デビュー。また、歌人としても活躍している



ヤクザが店にやってきた

—暴力団と闘う飲食店オーナーの奮闘記



2000年10月朝日文庫



2001年3月朝日文庫

額に汗して稼いだ金で飲む—。客のそんな一夜のささやかな楽しみを守るため、一人の男が立ち上がった! ヤクザを撃退し、その営業方針を貫いて長年飲食店を運営してきた著者。「ぶっ殺してやる」と脅されながらも、熱い信念を曲げずに闘い続けるのはなぜか。ヤクザに絡まれそうになったとき、どうすればいいのか。深い洞察と手に汗握るエピソードに彩られたノンフィクションの傑作。

宮本照夫: 1938(昭和13)年山口県生れ。59年山口県立下松工業高校卒業。64年川崎市で焼鳥屋を開店。以来、クラブ、スナックなど50近い店をオープンする。「暴力団お断り」の方針を貫き、警察と協力して、これまでに100人以上のヤクザや不良客を検挙させた。現在、(株)宮本企画代表取締役。川崎、麻布十番などで焼肉店を運営する傍ら、全国で飲食店経営、暴力追放について講演を行っている。著書に『それでもヤクザはやってくる』(2007年映画化)



2009年8月新潮文庫

住めば都 作詞／作曲宇崎竜童
歌・演奏 ダウンタウンヴギウギバンド

2008年10月

やかましい町 埋立の町 サビ色の町 空気匂う町
たれ流しの町 大企業の町 公害認定患者溢れる町
アル中の町 馬券舞う町 競輪の町 風俗営業の町
たちんぼの町 チンピラの町 駅から0分駅ビルの町
住めば都 愛しい都 恋しい都

Come on a my home, my home town

住めば都 愛しい都

寄ってらっしゃい 俺らの町へ

ストリップの町 客引きの町 昼サロの町 ヤクザうろ
つく町

泡踊りの町 オールナイトの町 連れ込みホテルは満
室の町

興奮の町 絶頂の町 失神の町 少女売春の町

悦楽の町 発情の町 恍惚の町 のけぞる町

住めば都 愛しい都 恋しい都

Come on a my home, my home town

住めば都 愛しい都

寄ってらっしゃい 俺らの町へ



川崎リターンブルース
作詞／作曲 ジョニー大倉
1976年11月

帰ろうか もどろうか
えんとつの煙 白い街
俺らの なじみさ

KAWASAKI RETURN BLUES

仕事に あぶれりゃ
えんとつの煙 黒い街
しばらくは 御無沙汰

KAWASAKI RETURN BLUES

春をよびこむネオン街(マチ)

ブラリブラリと堀の内

熱い奴らであふれてる

オール・ナイトのストリップ

彼女にふられて

えんとつの煙 灰の街

安酒 飲屋に

KAWASAKI RETURN BLUES

立喰 立飲 立見席

鼻をつくような.....

寝とまり気ままな 富士見公園

いきをしながら 死んでいる

いまでも 誰かが

えんとつの煙 紅い街

どこかでひっそり生きてる

KAWASAKI RETURN BLUE



セックスマシンガンズ
雨の川崎 2012年1月

カワサキ・キッド



2010年6月 朝日新聞社
2015年8月 朝日文庫

川崎での少年時代が「ヒガシ」をつくった。コリアン・タウンで、貧しくも懸命に生きていた少年時代。40代になって初めて明かす自身のルーツ、運命の出会いと別れ、ジャニーズでの生活、父性の芽生えなど、30年ぶりの故郷再訪で見た原風景ー。ちょっぴりせつなく、心あたたまる、秘話満載の自伝的エッセイ。「ヒガシ」ありのままのモノローグ。

東山紀之

1966年川崎市生まれ。85年、少年隊として「仮面舞踏会」でレコードデビュー



※
布川敏和
1965年川崎区生まれ。大師の近くで育つ。
82年シブガキ隊でデビュー



川崎出身の芸能人





光



2008年11月26日刊 集英社
2013年10月18日刊集英社文庫

東京都の離島で暮らす中学生の信之は、同級生の美花と付き合っている。ある日、島を大災害が襲い、信之と美花、幼なじみの輔、そして数人の大人だけが生き残る。島での最後の夜、信之は美花を守るため、ある罪を犯し、それは二人だけの秘密になった。それから二十年。妻子とともに暮らしている信之の前に輔が現れ、過去の事件の真相を仄めかす。信之は、美花を再び守ろうとするが—。渾身の長編小説。

上平間で家庭を持つ信之は、川崎市港湾局の職員である。輔は、鋼管通りのアパートに住み、信之の妻と懇ろになり、信之を脅す。

三浦しをん

1976年、東京生まれ。2000年『格闘する者に〇』でデビュー。以後、『月魚』『秘密の花園』『私が語りはじめた彼は』『おかしのはなし』。2006年『まほろ駅前多田便利軒』で直木賞受賞。他に、小説に『風が強く吹いている』『仏果を得ず』『光』『神去なあなあ日常』など、エッセイに『あやつられ文楽鑑賞』『悶絶スパイラル』『ビロウな話で恐縮です日記』などがある。



2017年製作 監督大森立嗣
井浦新、瑛太、長谷川京子、橋本マナミ

神はサイコロを振らない 君を忘れない



2004年12月1日中央公論新社
2005年12月中公文庫

忽然と消息を絶った旅客機が、10年後に還ってきた。しかし68名の乗員乗客の時計の針は10年前を指したまま。歳月を超えて実現した奇跡の再会、そして旅立ちの物語。

旅客機に5歳の少年が独りで乗っていた。事故当時、父親は不倫旅行中であつたことがばれ、両親は離婚し、母親は海外に移住した。残された父親は、不倫相手にも捨てられ、会社は倒産し、川崎でホームレスになっていた。川崎市広報課職員がそのことを記憶していて、捜し当て、父親は身ぎれいになって5歳のままの息子を迎えに行くが。

大石/英司

1961年鹿児島県鹿屋市生まれ。「朝日ジャーナル」などでフリーライターとして活躍後、1986年『B-1爆撃機を追え』で小説家デビュー

2006年1月 日本テレビ水曜ドラマ

出演者：小林聡美、ともさかりえ、山本太郎、武田真治、成海璃子、市川実和子、尾美としのり、小清水一揮、明星真由美、丸山智己、矢沢心、ベンガル、片桐仁、佐々木麻緒、榊英雄、升毅、大杉漣、岸辺一徳

朝が来る



2015年6月15日

文藝春秋社

2018年9月文春文庫

長く辛い不妊治療の末、特別養子縁組という手段を選んだ栗原清和・佐都子夫婦は民間団体の仲介で男子を授かる。朝斗と名づけた我が子はやがて幼稚園に通うまでに成長し、家族は平仮な日々を過ごしていた。そんなある日、夫妻のもとに電話が。それは、息子となった朝斗を「返してほしい」というものだった—。

里親夫婦は、小杉のタワーマンションに住む。前半部分は、タワーマンション内の人間関係の妙を描く

辻村/深月

1980年山梨県生まれ。2004年『冷たい校舎の時は止まる』で第31回メフィスト賞を受賞しデビュー。11年『ツナグ』で第32回吉川英治文学新人賞、12年『鍵のない夢を見る』で第147回直木三十五賞、18年『かがみの孤城』で第15回本屋大賞を受賞



2020年秋映画化

1997年、『萌の朱雀』でカンヌ国際映画祭カメラ・ドール（新人監督賞）を受賞した河瀬直美監督の最新作。『家族』『故郷・奈良』にこだわり続ける河瀬が選んだ題材は、「特別養子縁組」を描いた直木賞作家・辻村深月の『朝が来る』。養子を受け入れる側の夫婦の状況と、実母の事情が前半と後半に分かれて描かれている。

出演 永作博美、井浦新、蒔田彩珠、浅田美代子

キャラクターズ



2008年5月1日新潮社刊
2012年11月5日河出文庫

主人公=キャラクターとしての批評家・東浩紀。書き手=実在の批評家・東浩紀+実在のライトノベル作家・桜坂洋。ふたりに与えられた武器は「キャラクター」という古くて新しい概念。「私」とセックスと死を描く日本文学、その脱構築として。「自然主義的リアリズム」、その文学環境崩壊の中で。主人公・東浩紀は、分裂する。暴走する。その果てに…。

主人公は、蒲田方面から車で川崎ラゾーナに買い物に来る。便意を催すが、どこのトイレも塞がっている。最上階のトイレが空いていたが、トイレ清掃のアルバイトの劇団員に屁理屈でからまれて、なかなか使用できない。便意をこらえながら、あきらめてラゾーナから出ていこうとするが。ラゾーナのトイレの数がたりない！と八つ当たりする。

東/浩紀

1971年生まれ。哲学者、批評家。専門は現代思想、表象文化論、情報社会論。93年にデビューし、98年に出版した『存在論的、郵便的』（新潮社）で第21回サントリ学芸賞受賞。06年10月より、東京工業大学世界文明センター特任教授

桜坂/洋

1970年生まれ。作家。集英社スーパーダッシュ小説新人賞最終候補作『よくわかる現代魔法』で、03年にデビュー。04年発表の短篇『さいたまチェーンソー少女』で第16回SFマガジン読者賞を受賞

永遠の仔



1999年3月刊幻冬舎
2004年9月幻冬舎文庫

霊峰の頂上で神に救われると信じた少女・久坂優希と二人の少年は、下山途中優希の父を憑かれたように殺害する。十七年後、再会した三人を待つのは……。

愛媛の児童養護施設で起居を共にした三人は、成人後、優希が看護師として勤める川崎駅近くの国道1号線沿いの病院で奇しくも巡り合う。武蔵小杉にある優希の自宅と病院を舞台に、多摩川で起きた殺人事件と三人が犯した過去の罪を巡り、話が展開する。

天童荒太:1960年、愛媛県生まれ。86年に『白の家族』で第十三回野性時代文学新人賞を受賞。93年には『孤独の歌声』が第六回日本推理サスペンス大賞優秀作となる。96年、『家族狩り』で第九回山本周五郎賞を、2000年にはベストセラーとなった『永遠の仔』で第五十三回日本推理作家協会賞を受賞。2009年、『悼む人』で第四百四十回直木賞を受賞



2000年4月 日本テレビ

出演 中谷美紀、渡部篤郎、椎名桔平、石田ゆり子、古尾谷雅人、永島暎子、藤真利子、塩見三省、森本レオ、片桐はいり、あき竹城

模倣犯



墨田区・大川公園で若い女性の右腕とハンドバッグが発見された。やがてバッグの持主は、三カ月前に失踪した古川鞠子と判明するが、「犯人」は「右腕は鞠子のものじゃない」という電話をテレビ局にかけたうえ、鞠子の祖父・有馬義男にも接触をはかった。ほどなく鞠子は白骨死体となって見つかった。未曾有の連続誘拐殺人事件を重層的に描いた現代ミステリの金字塔、その容疑者の一人として殺害された川崎市の住人がでっち上げられようとする。

宮部 みゆきについて

1960年生まれ。東京都出身。東京都立墨田川高校卒業。

法律事務所等に勤務の後、87年「我らが隣人の犯罪」でオール讀物推理小説新人賞を受賞してデビュー。

1992年「龍は眠る」で第45回日本推理作家協会賞長編部門、

同年「本所深川ふしぎ草紙」で第13回吉川英治文学新人賞。

1993年「火車」で第6回山本周五郎賞。1997年「蒲生邸事件」

で第18回日本SF大賞。1999年「理由」で第120回直木賞。

2001年「模倣犯」で毎日出版文化賞特別賞、第5回司馬遼太郎賞、

第52回芸術選奨文部科学大臣賞文学部門をそれぞれ受賞。

2007年「名もなき毒」で第41回吉川英治文学賞受賞。

2008年 英訳版『BRAVE STORY』でThe Batchelder Award 受賞

探偵少女アリサの事件簿



1 溝の口より愛をこめて
2014年11月幻冬舎
2016年10月幻冬舎文庫



2 今回は泣かずにやります
2017年12月幻冬舎
2020年10月幻冬舎文庫



3 さらば南武線
2021年11月幻冬舎



画: 森ゆきなつ
バースコミックススペシャル
2015年3月



テレビ朝日 2017年1月
本田望結 田中圭 寺田農
岩城滉一 名取裕子

川崎市を舞台とした推理小説のシリーズ。大人顔負けの推理力を持つ探偵少女『綾羅木有紗』が便利屋をしている 冴えない三十路男『橘良太』と共に川崎市で起こる事件を解決していくという物語である。

東川篤哉: 1968年広島県生まれ。岡山大学法学部卒業。2002年カップ・ノベルスの新人発掘プロジェクトで長編デビュー。11年『謎解きはディナーのあとで』が第8回本屋大賞を受賞し、ベストセラーに。『交換殺人には向かない夜』『放課後はミステリーと共に』『ハッピーアワーは終わらない かがやき荘西荻探偵局』『伊勢佐木町探偵ブルース』などがある。

愛と幻想のファシズム



1987年8月刊
講談社

世界恐慌!ドル暴落!日本経済壊滅!嵐の時代に現われた稀代の若きカリスマ。危険な予兆をはらんだ衝撃の近未来政治小説

1990年、中南米にデフォルトの波が起こり、世界経済は恐慌へと突入。アメリカは経済不安を理由に、各国の在米資産を凍結、日本は未曾有の危機を迎えた。サバイバルリスト鈴木原冬二をカリスマとする政治結社「狩猟社」には、官僚、企業家、思想家、法律家、学者、テロリストが集結し、社会的ダーウィニズムを実行していく。良識派は彼らをファシストと呼んだが、「狩猟社」は過激派をつぶし、労組のストを破壊し、要人にテロを加え、反対派を廃人にしながら、一気に日本の中枢を獲ろうとする。そんな彼らの前に、恐慌後秘密結成された多国籍企業集団「ザ・セブン」が徐々にその恐るべき姿を現わす。

村上龍

1952年長崎県生まれ。七六年『限りなく透明に近いブルー』で第七五回芥川賞受賞。『コインロッカー・ベイビーズ』で野間文芸新人賞、『半島を出よ』では野間文芸賞、毎日出版文化賞を受賞。『トパーズ』『KYOKO』で映画監督も務めた。最新作は『新 13歳のハローワーク』『13歳の進路』。日本の金融・政治経済の問題を考えるメールマガジン『JMM』を主宰し、経済トーク番組『カンブリア宮殿』(テレビ東京)のホストも務める。

犯人に告ぐ



2007年9月刊
双葉文庫

闇に身を潜め続ける犯人。川崎市で起きた連続児童殺害事件の捜査は行き詰まりを見せ、ついに神奈川県警は現役捜査官をテレビニュースに出演させるという荒技に踏み切る。白羽の矢が立ったのは、6年前に誘拐事件の捜査に失敗、記者会見でも大失態を演じた巻島史彦警視だった—史上初の劇場型捜査が幕を開ける。第7回大藪春彦賞を受賞し、「週刊文春ミステリーベストテン」第1位に輝くなど、2004年のミステリーシーンを席卷した警察小説の傑作。**麻生区、多摩区、宮前区で5歳から7歳の男児が殺される。宮前署を捜査本部として、犯人との駆け引きが続く。**

零井/脩介

1968年愛知県生まれ。専修大学文学部卒。2000年に第4回新潮ミステリー倶楽部賞受賞作、『栄光一途』でデビュー。05年に『犯人に告ぐ』で第7回大藪春彦賞を受賞

2007年製作

監督 瀧本智行

出演 豊川悦司、石橋凌、小沢征悦、笹野高史、松田美由紀、井川遥、崔洋一、石橋蓮司



孤狼 刑事・鳴沢了第4巻



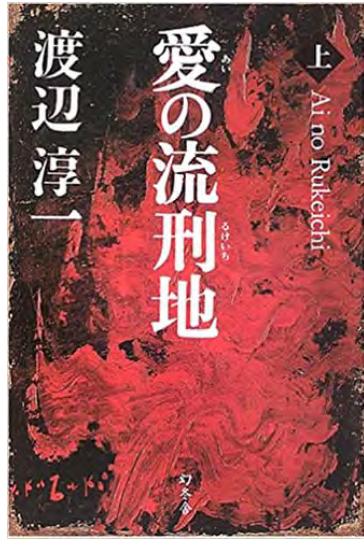
中公文庫2005年10月
刊

行方不明となった刑事と、不審死を遂げた刑事。遺体の手には「鳴沢了」と書かれたメモが――。本庁の理事官に呼ばれた了は、新たな相棒と共に消えた刑事の捜索を命じられた。だが彼らの前に、謎の組織『十日会』が立ちはだかる。尾行、妨害、脅迫……纏れた糸は、やがて警察内部の闇へと繋がっていく。

犯人の一人が、鷺沼駅から246号線を越えたところに住む。

- 堂場瞬一
一九六三年生まれ。茨城県出身。青山学院大学国際政治経済学部卒業。二〇〇〇年秋『8年』にて第一三回小説すばる新人賞を受賞。著書に「刑事・鳴沢了」シリーズ、「警視庁失踪課・高城賢吾」シリーズ、「刑事の挑戦・一之瀬拓真」シリーズ、「汐灘」サーガの他、『犬の報酬』『白いジオラマ』『奔る男 小説 金栗四三』(以上中央公論新社)、「警視庁追跡捜査係」シリーズ(ハルキ文庫)、「捜査一課・澤村慶司」シリーズ(角川文庫)、「警視庁犯罪被害者支援課」シリーズ(講談社文庫)、「ラストライン」シリーズ(文春文庫)、『沃野の刑事』(講談社)、『インタビューズ』(河出書房新社)、エッセイ集『弾丸メン』(集英社)などがある。

愛の流刑地



その男と出会い、女はすべてを捨てた。生まれて初めて知った狂おしいほどの性の悦び—。エクスタシーの頂点で、女が男に求めた究極の行為とは。男女の性愛を大胆に描写し、日本経済新聞連載中から大反響を巻き起こした衝撃の問題作。

渡辺/淳一

1933年北海道生まれ。医学博士。58年札幌医科大学医学部卒業後、母校の整形外科講師をつとめるかたわら小説を執筆。作品は初期の医学を題材としたものから、歴史、伝記的小説、男と女の本質に迫る恋愛小説と多彩で、医学的な人間認識をもとに、華麗な現代ロマンを描く作家として、常に文壇の第一線で活躍している。70年「光と影」で直木賞受賞。80年に「遠き落日」「長崎ロシア遊女館」で吉川英治文学賞を、2003年には紫綬褒章受章、菊池寛賞などを受賞

2001年5月幻冬舎刊

2007年8月幻冬舎文庫



2006年東宝R15+

監督 鶴橋康夫

出演 豊川悦司 寺島しのぶ

長谷川京子 仲村トオル 松

重豊 本田博太郎 余貴美子

貫地谷しほり 佐藤浩市陣内

孝則 浅田美代子 佐々木蔵

之介 富司純子 津川雅彦

2007年3月日本テレビ

出演 岸谷五朗 高岡早

紀 瀬戸朝香 麻生祐未

川島なお美 杉田かおる

柄本明 小倉久寛 甲本

雅裕 山本寛斎 泉ピン

子 古谷一行



欲望



1997年7月新潮社刊
2000年3月新潮文庫

三島由紀夫邸を寸分違わず模倣した変奇な館に、運命を手繰り寄せられた男女。図書館司書の青田類子は、妻子ある男との肉欲だけの関係に溺れながら、かつての同級生である美しい青年・正巳に強くひかれてゆく。しかし、二人が肉体の悦びを分かち合うことは決してなかった。正巳は性的不能者だったのだ。切なくも凄絶な人びとの性、愛、そして死。小池文学が到達した究極の恋愛小説。

変奇な館は、類子と正巳の高校時代の同級生阿佐緒の富豪の夫が、生田緑地近くに建てた(多摩区東生田あたり)。三島文学の美学とエロスを交えながら話が展開する。

小池真理子:1952(昭和27)年、東京生れ。成蹊大学文学部卒業。1996(平成8)年に『恋』で直木賞、1998年に『欲望』で島清恋愛文学賞、2006年に『虹の彼方』で柴田錬三郎賞を受賞した。代表的な長編作品に『狂王の庭』『虚無のオペラ』『瑠璃の海』『望みは何と訊かれたら』『ストロベリー・フィールズ』がある一方、短編の名手としても知られ、『水無月の墓』『夜の寝覚め』『雪ひらく』『玉虫と十一の掌篇小説』といった短編集も多数発表している。また、エッセイ集に『闇夜の国から二人で舟を出す』などがある。

魍魎の匣



1999年9月講談社
文庫2004年1月講
談社



2007年12月 監督:原田真人 配給:ショウゲート

堤真一 阿部寛 椎名吉平 宮迫博之 田中麗奈 黒木瞳 荒川良々 大沢樹生 篠原涼子
宮藤官九郎 柄本明



2008年10月日本テレビ



画:志水アキ2007年12月角
川書店

箱を祀る奇妙な霊能者。箱詰めにされた少女達の四肢。そして巨大な箱型の建物一箱を巡る虚妄が美少女転落事件とバラバラ殺人を結ぶ。探偵・榎木津、文士・関口、刑事・木場らがみな事件に関わり京極堂の元へ。果たして憑物(つきもの)は落とせるのか!?日本推理作家協会賞に輝いた超絶ミステリ、妖怪シリーズ第2弾。

京極夏彦:1963年生まれ。北海道小樽市出身。

日本推理作家協会 第十五代代表理事。世界妖怪協会・お化け友の会 代表代行。

1994年「姑獲鳥の夏」で衝撃的なデビューを飾る。1996年「魍魎の匣」で第49回日本推理作家協会賞長編部門、1997年「嗤う伊右衛門」で第25回泉鏡花賞、2003年「覗き小平次」で第16回山本周五郎賞、2004年「後巷説百物語」で第130回直木賞を受賞。2011年「西巷説百物語」で第24回柴田錬三郎賞受賞。2016年 遠野文化賞受賞。

神々の銃弾



拳銃を抱いた少女は12歳

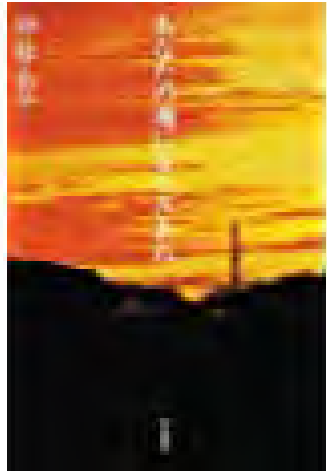
国際捜査班・根本警部とコンビを組むのは、家族を惨殺され、復讐を胸に秘めた小さな殺し屋！

「助けて！」根本(ねもと)警部が留守電を再生すると、12歳の少女麻衣(まい)の悲鳴が聞こえた、川崎中原区の県営住宅で起きた一家射殺事件。両親と兄を殺され、少女はそのまま失踪(しっそう)。その足跡を追う根本は、彼女がモデルガン店を巡り本物の拳銃を多数売りつけている事実を掴む。少女はなぜ銃を所持しているのか？ 家族の復讐を誓い、根本と少女が強大な権力に立ち向かう傑作サスペンス！

佐伯/泰英

1942年、北九州市生まれ。闘牛カメラマンとして海外で活躍後、国際的スケールの作品を次々と発表する。99年に初の時代小説『密命―見参!寒月霞斬り』(祥伝社文庫)を発表後、刊行する作品がことごとくベストセラー入りする人気作家に。

あなたの魂に安らぎあれ



1983年1月
早川書房
1986年3月
ハヤカワ文庫

核戦争後の放射能汚染は、火星の人間たちを地下の空洞都市へ閉じ込め、アンドロイドに地上で自由を謳歌する権利を与えた。有機アンドロイドー人間に奉仕するために創られたそれは、人間のテクノロジーをひきつぎ、いまや遙かにすぐれた機能をもつ都市を創りあげていた。だが、繁栄の影では、ひとつの神話がアンドロイドの間でひそやかに伝えられている。「神エンズビルが天から下り、すべてを破壊し、すべてが生まれる…」果して破壊神エンズビルは本当にあらわれるのだろうか?—人間対アンドロイドの抗争を緻密なプロットで描く傑作!

神林 長平

1953年新潟県生まれ。1979年、第5回ハヤカワ・SFコンテスト佳作入選作『狐と踊れ』で作家デビュー。

第1長篇『あなたの魂に安らぎあれ』以来、独自の世界観をもとに「言葉」「機械」などのテーマを重層的に絡みあわせた作品を多数発表、SFファンの圧倒的な支持を受けている。『敵は海賊・海賊版』、『グッドラック 戦闘妖精・雪風』などの長短篇で、星雲賞を数多く受賞(以上、早川書房刊)。1995年、『言壺』で第16回日本SF大賞を受賞した。

かわさきのむかし話を語ろう



「復刻版 かわさきのむかし話」を基に、童話や昔話の研究者で筑波大名誉教授の小澤俊夫さんと小澤さんが設立した「小澤昔ばなし研究所」が語りやすい文章に再話、編集しました。

2022年4月16日
北野書店

- 「復刻版 かわさきのむかし話」を基に、童話や昔話の研究者で筑波大名誉教授の小澤俊夫さんと小澤さんが設立した「小澤昔ばなし研究所」が語りやすい文章に再話、編集しました。

オオカミの護符



川崎市の実家で著者が目にした一枚の護符。描かれた「オイヌさま」の正体とは何か。高度成長期に、小さな村から住宅街へと変貌を遂げた神奈川県川崎市宮前区土橋。古くから農業を営んできた小倉家の古い土蔵に貼られた「オイヌさま」に導かれ、御岳山をはじめ関東甲信の山々へ——護符をめぐる謎解きの旅が始まる。都会に今もひっそりと息づく山岳信仰の神秘の世界に触れる好著。

小倉美恵子

1963(昭和38)年、神奈川県川崎市宮前区土橋生れ。アジア21世紀奨学財団、ヒューマンルネッサンス研究所勤務を経て、2006(平成18)年に(株)ささらプロダクションを設立。2008年、映画「オオカミの護符—里びとと山びとのあわいに」で文化庁映画賞文化記録映画優秀賞、地球環境映像祭アース・ビジョン賞を受賞。

2011年12月15日新潮社2
014年11月28日新潮文庫

横浜大戦争【川崎・町田編】



蜂須賀敬明
1987年、神奈川県出身。
早稲田大学第二文学部
卒業。2016年、『待つて
よ』で第二十三回松本清
張賞を受賞。

2022年4月22日
文藝春秋社

発売するや有隣堂書店横浜駅西口ジョイナス店で売り上げ総合1位を獲得するなど、ハマに旋風を巻き起こした『横浜大戦争』の第三弾。今度は横浜を飛び出し、川崎、町田の地でも大暴れ。ある日突然川崎の神から「オメーらに、横浜を司る資格はない」と宣戦布告を受けた横浜の土地神たち。売られた喧嘩は買ひかない。わけもわからず川崎との“戦争”を始めた横浜の土地神たちだったが、そこになぜか町田市を司る町田の大神も参戦。どうしてこんな奇妙奇天烈なことが起こってしまったのか。それはこの“戦争”が、町田の大神が横浜、川崎を呑み込み「町田県」として独立することを夢見たために起きた“領土争い”だったから。だがしかし、その町田の大神も何者かに操られているに過ぎなかった……。果たしてこの壮大な“戦争”の発端は何だったのか？



2017年6月文藝春秋社刊
2019年10月文春文庫



2019年2月文藝春秋社刊
2021年5月文春文庫

ランドマークタワーの六十八階で、横浜の大神が「横浜大戦争」の幕開けを宣言。大洋ホエールズのユニフォームを着ている保土ヶ谷の神を主人公に、戸塚・泉・栄の三姉妹、それぞれ身勝手な鶴見や金沢や港南、港北・緑・青葉・都筑の擬似家族、横浜中心部を司る中・西の姉弟などが、横浜の“中心”を決めるべく、くんずほぐれつの戦いを繰りひろげる。舞台は旧ドリームランド、山下埠頭、こどもの国などに展開し、驚くべき結末が待っている…。前代未聞にして空前絶後のエンタテイメント長編。

発売初週に有隣堂書店横浜駅西口店で総合1位の快挙を達成！ハマの風を受けて横浜を中心に異様な盛り上がりを見せた『横浜大戦争』から一年半。ハマを興奮の渦に巻き込んだ土地神たちが帰ってきた！

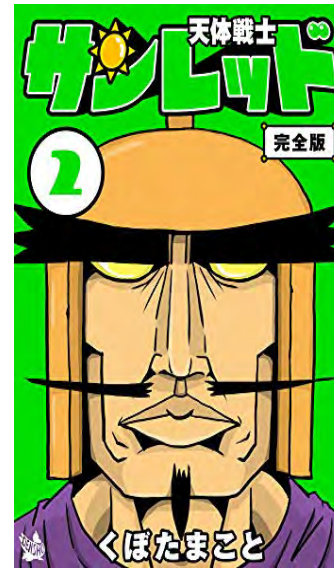
花見に興じる土地神たちの元に怪しい男から届けられた木箱。その中に入っていたのは、中心がかすかに紫色をした黒い水晶玉だった。訝しむ神々たちの不安は見事に的中し、その水晶玉は黒い光を放ちながら濃い影を生み出していた。中の神、西の神、保土ヶ谷の神はその影に飲み込まれ、なんと明治時代の横浜に飛ばされてしまう。

戸惑う神々の前に現れた商家の少女・茂原れんげ。なぜか力を発揮できなくなる土地神たちの神器、明治の横浜で暗躍する謎の犯罪集団。土地神たちが現代へ帰る方法を探る最中、れんげが誘拐される事件が発生し、土地神は奪還に乗り出す。そこに鎌倉、久良岐、橘樹、都筑ら神奈川を護っていた古の土地神たちも参戦し。れんげの運命はいかに。そして保土ヶ谷の神たちは現代に帰ることができるのか。時空を超えた神々の異能バトルが繰り広げられる。超ド級のエンタテイメント再び！

漫画



東京都の真下に位置する神奈川県。横浜、横須賀、相模原、平塚……様々な地域に別にひっそりするでもなく普通に暮らしているエルフたち。今日も横浜駅で本を探したり、みなとみらいで買い物をしたり、オークとケンカしたり(?)と現代エルフライフを謳歌中。



ヴァンプ將軍率いる悪の組織”フロシャイム” in 川崎支部！チンピラヒーロー・サンレッドVS.小市民怪人が闘います！礼儀正しく人情味溢れる怪人たちを応援したくなる！

バスケットボールを題材にしたスポーツ漫画、ギャグ漫画^[2]である。物語は神奈川県川崎市が舞台となっている。これは、作者自身の住居が近所であるため、「資料集めが楽」^[3]という理由からである。スポーツ弱小校を舞台に、主人公の躍進とその成長過程が描かれる。それを取り巻くように、部員同士の不和、部員と指導者との軋轢、部員の退部、いじめなど「部活動で起こりうる問題」が取り上げられる。加えて、バスケ部員の学校生活や恋愛、心情などが繊細に描写される^[4]。更に、両親の別居・離婚、貧困など登場人物が抱える家庭の問題、登場人物の過去のトラウマなど幅広いテーマが取り上げられる。



健気な労働者を描いた映画



1964年 日活

監督 柳瀬観 音楽 遠藤実 歌 舟木一夫
出演 浜田光夫 松原智恵子 舟木一夫 藤
竜也 松尾嘉代 飯田蝶子

今日も希望の朝が来た。
バスの車掌節子がトラックの運転手光弘と知りあつたのは彼のトラックがエンコしたことからだった。光弘は節子のハキハキした現代女性らしい態度がスッカリ気に入ってしまい、持っていた椿の花の一輪をプレゼントしてしまった。節子も彼の素直な男らしさに乙女心をふるわすのだった。

仲間たち

1979年 松竹

俺たちの交響楽

川崎の工業地帯の鉄工所に勤める徳次郎はある夏の日、「[川崎でベートーベンの第九](#)をうたいましょう」との勧誘にきた女の子たちを誘惑してやろうと、合唱団「エゴラド」へ入団する。12月の公演を目指し、厳しい訓練や合宿を通して、徳次郎は何度か挫折を繰り返すが、いつしか団員とともに公演成功を目指し奔走していく。

監督 朝間義隆 原案 山田洋次 演奏 日本フィルハーモニー
出演 武田鉄矢 友里千賀子 永島敏行 田辺靖雅 森下愛子
熊谷真実 岡本茉莉 ホーンユキ 太宰久雄 三崎千恵子 谷しの
下條正巳 左時枝 山本圭 田村高廣 倍賞千恵子 渥美清



トラック野郎



主演は菅原文太、愛川欽也。煌びやかな電飾と極彩画に飾られた長距離トラック(デコトラ)の運転手、一番星桃次郎(菅原)とヤモメのジョナサン(愛川)が巻き起こす、アクション・メロドラマ・お色気・下ネタ・笑い・人情が渾然一体となった大衆娯楽活劇である。監督は奇才かつヒットメーカーで、菅原とは無名時代からの友人でもある鈴木則文。



『トラック野郎』は、1975年から1979年にかけて東映の製作・配給で公開された、日本映画のシリーズ。全10作。本シリーズの大ヒットにより、車体を電飾で飾り、ペイントを施して走るアートトラック(デコトラ)が増加した。





2008年6月東映ビデオ
監督:高瀬将嗣
宅麻伸 小倉優子 パンチ
佐藤 新井康弘

真奈美がシングルマザーとして娘の小夜子を育てるため開いた「スナック小夜子」には、常連客が寂れた雰囲気惹かれてやってくる。20年前、オカマのショーパブで舞台スタッフをしていた真奈美は、スター・ダンサーであるエンジェルとして友情を分かち合っていたが、エンジェルがタイへ出発する前夜、酔っぱらったふたりは、男女の関係を持ってしまい、小夜子が生まれた。小夜子はエンジェルが父親であることを知らず成長する。

数年後、実家にもどってきた小夜子は、借金で閉店しなければならないスナックを、大人気のオカマバーをまねて、ホステスの亮子と二人で偽のオカマバーとして再起をかける。しかしながら、真奈美に猛反対された小夜子は、真奈美の昔の友人であるオカマのエンジェルに力を貸してほしいとお願いする。

数日後、エンジェルは「スナック小夜子」にやってくる。エンジェルの厳しい指導のもと、小夜子と亮子は偽のオカマダンサー特訓を重ね、大変身を遂げ、毎夜多くの客が来て、偽オカマバー作戦は大成功するが...

この作品で監督デビューを果たした原桂之助は、新藤兼人銀賞。ほとんどのロケは神奈川県川崎市で行われ、「かわさき街おこしシネマプロジェクト」に市民から製作費の約30%に当たる約2000万円の協賛金が集まった。「スナック小夜子」は川崎区内の空き店舗が活用され、地元の工務店が内装工事を担当したり、市民の130名がエキストラ登録するなど、さまざまなバックアップを受けて制作された^[4]



監督:原桂之助 2014年10月
配給:アイエスワールド
須藤理沙、藤本泉、安田顕、大浦
龍宇一 金山一彦 大杉漣

選挙



2005年9月の郵政民営化選挙の直後、[切手・コイン商](#)を営んでいた40歳の山内和彦は、ひょんなことから[川崎市議会](#)議員補欠選挙の公募の面接に合格、なんと[自民党公認](#)の候補者となった。しかし、山内は政治に関してはまったくの素人で、東京都出身の山内にとっては川崎市宮前区は縁もゆかりも無い所。まさに[落下傘候補](#)。他の[民主党](#)・[共産党](#)・市民派([神奈川ネットワーク運動](#))の3候補はベテランぞろいだが、民主党との議席数は拮抗しており、自民党としてはなんとしても勝ちたいと思っている。[三バン](#)(地盤・看板・鞆(組織・知名度・お金))も無い山内だが、「補欠選挙」ということで地元の国会議員や市議会議員、そして彼等の支持者たちの手厚い支援を受ける。山内は[ドブ板選挙](#)を展開し、片っ端から[保育園](#)や[バス停](#)などにいる人にも声をかけ、地域の[運動会](#)や祭りにも行き、「電柱にもお辞儀作戦」にでて、妻も含めて必死の選挙活動を行うが……。

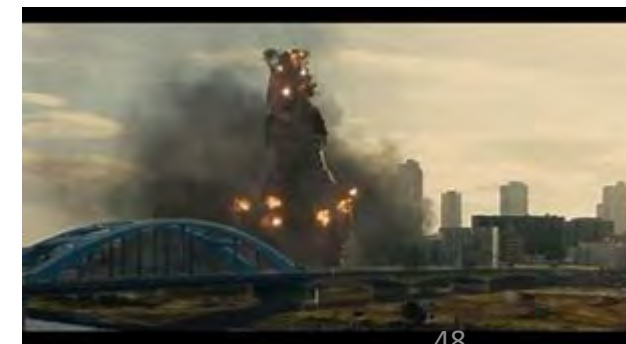
2007年想田和弘監督初の長編ドキュメンタリーにして、ナレーション、音楽、説明が一切ない「観察映画」第一弾。日本の政治の縮図ともいえる選挙に密着し、日本型民主主義の構造そのものをあぶり出した。ベルリン国際映画祭など各国映画祭からの招待が殺到。世界約200国で放送、世界中に『選挙』旋風を巻き起こした!

ゴジラ



「ゴジラ FINAL WARS」(2004)以来12年ぶりに東宝が製作したオリジナルの「ゴジラ」映画。総監督・脚本は「エヴァンゲリオン新劇場版」の庵野秀明が務め、「のぼうの城」「進撃の巨人 ATTACK ON TITAN」の樋口真嗣が監督、同じく「のぼうの城」「進撃の巨人」などで特撮監督を務めた尾上克郎が准監督。14年のハリウッド版「GODZILLA ゴジラ」に登場したゴジラを上回る、体長118.5メートルという史上最大のゴジラをフルCGでスクリーンに描き出し、リピーターが続出するなど社会現象とも呼べる大ヒットを記録。興行収入は81.5億円に上り、第40回日本アカデミー賞では作品賞、監督賞ほか7部門で最優秀賞を受賞した。ある時、東京湾アクアトンネルで崩落事故が発生。首相官邸で開かれた緊急会議では、地震や海底火山の噴火など事故原因をめぐって議論が紛糾する。そんな中、内閣官房副長官の矢口蘭堂は、海底に正体不明の巨大生物が生息し、それが事故の原因ではないかと推測するが……。矢口役の長谷川博己、内閣総理大臣補佐官・赤坂秀樹役の竹野内豊、米国大統領特使カヨコ・アン・パターソン役の石原さとみをメインに総勢328人のキャストが出演し、狂言師の野村萬斎がゴジラのモーションキャプチャーアクターとして参加した。

監督 庵野秀明
出演 長谷川博己 竹之内豊 石原さとみ 高良健吾 大杉漣 柄本明 余貴美子 国村隼 平泉成 高橋一生 野村萬斎



ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃



川崎市に住む、いじめられっ子で引っ込み思案の小学生・三木一郎は、両親が共働きの鍵っ子だ。一郎のもっぱらの楽しみは、同じアパートに住む「発明おじさん」こと南信平が作った玩具で遊ぶことである。信平を真似てガラクタで作った玩具のコンピューターで夢の世界へ向かった一郎は、怪獣島に住むゴジラの息子ミニラと出逢う。そこで一郎は、自分をいじめているガキ大将と同名のいじめっ子怪獣ガバラにミニラがいじめられていることを知り、自分によく似た境遇にいるミニラを激励する。

一郎がそんな夢に浸っている最中、逃亡中の2人組の銀行強盗犯がひょんなことから一郎を人質にとろうと企てる。

1969年12月 第10作

監督 本多猪四郎

出演 矢野知紀 佐原健二 天本英世

駅前団地



前作『駅前旅館』から3年のブランクを経て再開された、『駅前』シリーズの第2作。本作から正式に『喜劇』のタイトルが入り、内容も脚本家によるオリジナルとなる。

本作は小田急小田原線の百合ヶ丘駅と、その隣の西生田駅(現:読売ランド前駅)を舞台にし、駅周辺に広がる百合ヶ丘第一団地で起きる土地問題を取り上げた。

助演には、後年日活で活躍する山内賢が「久保賢」名義で出演、他には元祖巨漢俳優・千葉信男や、二木てるみの実弟・二木まこと、そして当時売り出し中の歌手・坂本九が洗濯屋役で出演している。坂本は後に、同じ久松監督のクレージー映画『クレージー作戦 先手必勝』でも、本作と同じ洗濯屋役で出演している(カメオ出演)

1961年8月 東宝

監督 久松静児

出演 森繁久彌 左ト全 伴淳三郎 森光子

山内賢 フランキー堺 淡島千景 坂本九 淡路恵子

トレンドドラマ



『男女7人秋物語』は、1987年10月9日から12月18日まで毎週金曜日21:00 - 21:54に、TBS系で放送された日本のテレビドラマ。主演は明石家さんま。前年にヒットした『男女7人夏物語』の続編。

明石家さんま、大竹しのぶ
岩崎宏美、- 片岡鶴太郎
山下真司
主題歌「SHOW ME」森川由加里



『金曜日の妻たちへ』(きんようびのつまたちへ)は、1983年(昭和58年)にTBSで放送された連続テレビドラマである。通称は『金妻(きんつま)』。

出演 古谷一行、いしだあゆみ、小川知子、奥田英二、板東英二、篠ひろ子、高橋恵子、竜雷太、泉谷しげる主題歌Part III
「恋におちて」小林明子

1.核家族間の交流とそこに起きる不倫を題材にしており、『不倫ドラマ』として『金妻(キンツマ)』の略称でも広く知られ、「放送日の金曜日夜10時には、主婦が電話に出ない」とまでいわれるほど大ヒットした。
2.ドラマの主要な登場人物は年齢が30代から40代前半の既婚男女らであり、生活程度は「中の上」で東京郊外の新興住宅地に暮らしている。この世代はちょうど当時の「団塊の世代」に当たり、在来ホームドラマがうまく描ききれなかった新しい世代の人間関係と、ドラマのような生活には縁が遠い。

阿部孝夫前市長出演の映画



THE CODE/暗号

探偵事務所5劇場版

2009年5月

監督 林海象

出演 尾上菊之助 稲森
いずみ 貫地谷しほり 松方
弘樹 宍戸錠 佐野史郎
阿部孝夫

“探偵事務所5”のある川崎市で爆破テロ事件が相次ぎ、犯人グループは政治犯の釈放を要求する。市長は発見された爆弾の解除を、探偵501(佐野史郎)に依頼する。情報科学研究所の部長・探偵507(尾上菊之助)は、宍戸会長(宍戸錠)の孫娘・瞳(貫地谷しほり)に数学を教える傍らで、次々と爆弾コードの解読をこなしていき、犯人グループも逮捕される。

九転十起の男 浅野総一郎の青春

2006年9月

監督 市川徹

出演 網本圭吾 寺田農
六平直政

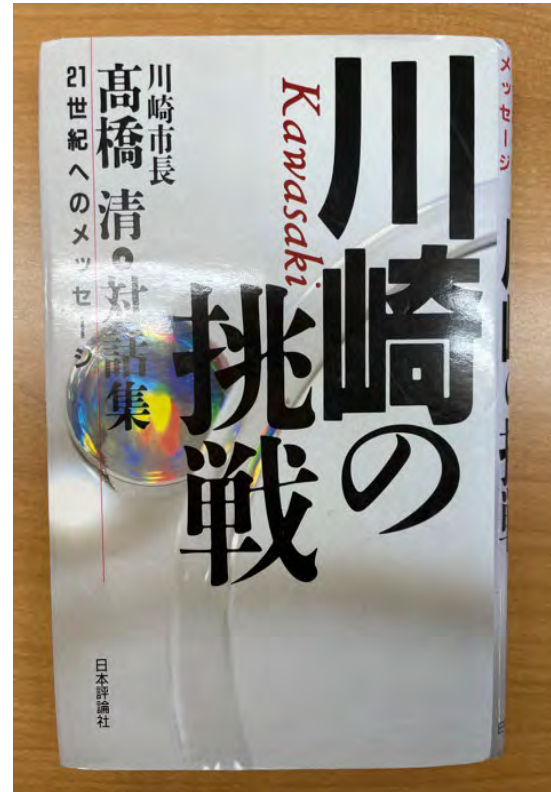


近代日本が経済的成長を遂げる礎(いしずえ)を築き上げた偉大な事業家、浅野総一郎の波乱万丈の人生を描いた伝記ドラマ。新田純子による「その男、はかりしれず～日本の近代をつくった男、浅野総一郎」を原作に、若手俳優の網本圭吾が、セメント、石油輸入、製鉄、ダム建設などあらゆるジャンルの事業を成功させていく浅野役を熱演する。“セメント王”“京浜臨海工業地帯開発の父”と呼ばれた、浅野のサクセス・エピソードの数々に驚かされる。

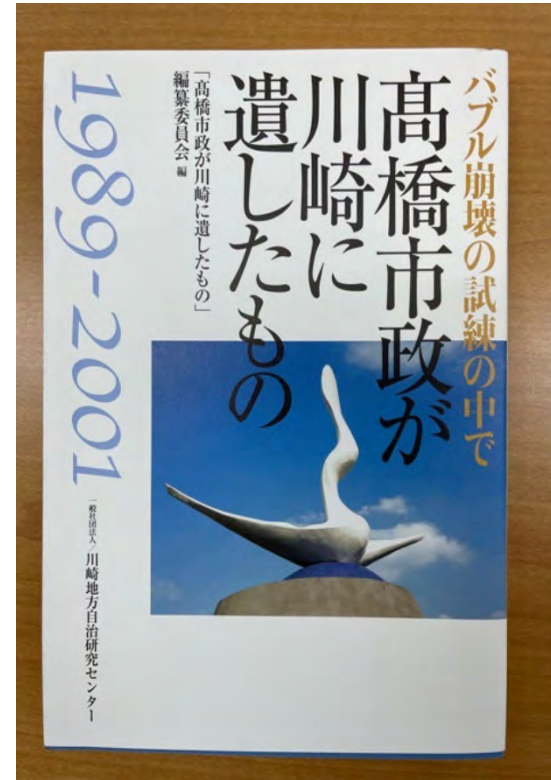
歴代市長が著した本



伊藤三郎
1982年7月刊
第一法規



高橋清
1999年11月刊
日本評論社



高橋清
2017年3月刊
川崎地方自治研
究センター



阿部孝夫
2019年3月刊
時事通信社

雫の街: 家裁調査官・庵原かのん



不倫、離婚、相続……「崖っぷち家族」のために女性調査官が奔走——
心揺さぶる筆致で家庭の在り方を問う人気シリーズ第2作は、欲望渦巻く川崎編！

不貞を続ける妻、モラハラ夫、我が子を見捨てる母親、身寄りのない記憶喪失の男……横
浜家裁川崎中央支部にやってくる「家事事件」の当事者たちは多種多彩。社会から零れ落
ちそうな人たちに寄り添うため、生身の人間と対峙する“臨床の専門家”であるかのんはひ
たむきに奔走する！
人間、そして家族のオモテとウラを心揺さぶる筆致で描く連作短篇集。

「思わず、感涙。とにかく読み応えがある。
前作を読んでなくても、いきなり本書から初めてもかまわない。
乃南アサの傑作シリーズであることは間違いない」
(書評家・池上冬樹)

乃南アサ：1960年、東京生れ。早稲田大学中退後、広告代理店勤務などを経て1988年、『幸福な朝食』
で日本推理サスペンス大賞優秀作を受賞し、作家活動に入る。1996年に『凍える牙』で直木三十五賞、
2011年に『地のはてから』で中央公論文芸賞、2016年に『水曜日の凱歌』で芸術選奨文部科学大臣賞を
受賞。他に『鎖』『嗤う闇』『しゃぼん玉』『美麗島紀行』『六月の雪』『チーム・オベリベリ』など、著書多数。